

# 県政を振り返り、次世代へつなぐ企画展 ～武村県政～



令和4年12月13日【火】～12月19日【月】 土日含む 10:00～16:00

滋賀県公館 入場無料（どなたでもご覧いただけます）

知事公室秘書課（077-528-3020）

## 【展示概要】

- 題目 『県政を振り返り、次世代へつなぐ企画展（武村県政）』
- 期間等 令和4年12月13日（火）～19日（月） 各日10:00～16:00
- 場所 滋賀県公館（大津市京町四丁目2番15号）
- 内容 展示約50点
- 担当 知事公室秘書課

令和4年9月28日に逝去された武村正義氏は、1974年（昭和49年）から3期11年半にわたり滋賀県知事を務められ、滋賀県政に多大な業績を残されました。

折しも今年9月29日に滋賀県政150周年を迎えた中、故人を偲びながら、武村県政の取組を広く周知し、次の世代に引き継いでいくという想いを新たにする企画展を開催します。



# 琵琶湖政策



## ①「びわ湖を美しくする運動」に参加 (昭和 52 年/1977 年)

1977 年 7 月 1 日、長浜の湖岸での「びわ湖を美しくする運動」に参加され、雨の中、湖岸のごみ回収に汗を流されました。この日、回収されたごみの量は約 40 トンにもなりました。

同年 5 月には琵琶湖で初めて大規模な赤潮が発生し、多くの人々に衝撃を与え、琵琶湖の抱える問題に目を向けるきっかけとなりました。

【滋賀県漁業協同組合連合会提供写真】



## ②③④滋賀県琵琶湖の富栄養化の防止に関する条例の施行日

(昭和 55 年/1980 年)

滋賀県琵琶湖の富栄養化の防止に関する条例の施行日である 1980 年 7 月 1 日の朝、武村元知事以下の条例施行日のキャラバン隊出発式が行われました。武村元知事は、「今日から富栄養化防止条例がスタートしました。精一杯努力して碧い湖を取り戻しましょう」と述べた後、街頭啓発に出発されました。街頭での宣伝の途中には、百貨店前や団地などで自ら洗濯機を回し、集まった人々に粉せっけんを PR されました。

水は、大気、土などとともに人間生存の基盤である。

この水を満々とたたえた琵琶湖は、日本最大の湖として、われわれに大きな試練を与えながらも、限りない恵みをもたらしてきた。

この琵琶湖が、近年、急激な都市化の進展などによって水質の悪化、とりわけ富栄養化の進行という異常な事態に直面している。しかも、それは、琵琶湖自身の自然の営みによるものではなく、琵琶湖流域に住む人々の生活や生産活動によって引き起こされている。

悠久の歴史をつづりながら、さまざまな人間活動を支えてくれた琵琶湖を、今、われわれの世代によって汚すことは許されない。

水は有限の資源であり、琵琶湖はまさにその恵みに浴する人々にとっての生命源であり、深い心のよりどころである。われわれは、幾多の困難を克服して、この水と人間との新しい共存関係を確立していかなければならない。

いまこそ、われわれは、豊かさや便利さを追求してきた生活観に反省を加え、琵琶湖のもつ多面的な価値と人間生活のあり方に思いをめぐらし、勇気と決断をもって、琵琶湖の環境を保全するため総合的な施策を展開することが必要である。

琵琶湖とともに生き、琵琶湖を愛し、琵琶湖の恵みに感謝する県民が環境保全の意識に目ざめ、今、ひたむきに創造的な活動を繰りひろげている。

われわれは、この自治と連帯の芽を育てながら、一体となって琵琶湖を守り、美しい琵琶湖を次代に引き継ぐことを決意し、その第一歩として、ここに琵琶湖の富栄養化を防止するための条例を制定する。



### ⑥琵琶湖研究所竣工式典 (昭和57年/1982年)

赤潮の発生など、琵琶湖の環境問題に焦点が当てられ始めていた中で、世界にも珍しい一つの湖および集水域に特化した研究機関として1982年4月1日に琵琶湖研究所が発足し、同年12月1日に竣工式典が行われました。武村元知事をはじめ国や淀川流域の自治体、大学などの関係者約150名が出席されました。

### ⑤琵琶湖研究所設立時を振り返ったインタビュー記事

琵琶湖研究所の設立5周年記念として所報に収められた武村元知事へのインタビュー記事。設立当時を振り返るといふ記事企画となっており、設立の意図や県立にこだわった思いが語られています。



⑥琵琶湖研究所定礎銘板  
琵琶湖研究所の定礎箱に収められていた銘板。2005年に後継の琵琶湖環境科学研究センターが開設し、研究所の所屋が撤去された際に取り出されました。



⑦当時の琵琶湖研究所のパンフレット  
冒頭に武村元知事の挨拶が収められたパンフレット。武村元知事の設立にかける思いが垣間見えます。



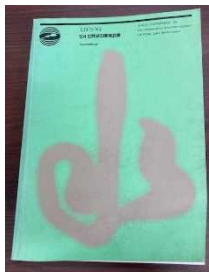
⑦⑧' 84 世界湖沼環境会議（第 1 回世界湖沼会議）（昭和 59 年／1984 年）

「湖沼環境の保全と管理 - 人と湖の共存の道をさぐる」をテーマに、「' 84 世界湖沼環境会議」（滋賀県・総合研究開発機構主催）は、8 月 27 日の歓迎レセプションを皮切りに、翌 28 日には大津市民会館に皇太子ご夫妻（現・上皇上皇后両陛下）をお迎えして開会式が行われました。開会挨拶は、主催者を代表して' 84 世界湖沼環境会議会長である武村元知事より行われました。

⑳第 1 回世界湖沼会議 議事録 開会挨拶 武村正義

主催者を代表して武村元知事が開会式で挨拶をされました。

開会挨拶では、「世界の多くの湖が人間活動の活発化につれて自然のバランスを崩し、湖沼環境保全のために厳しい対応を迫られるなかで、水と人間との新たな調和の道を見出すために、世界の関係者が一堂に会し、知恵と経験を交わしあうことが必要だ」と開催趣旨を述べ、さらに、「水は人の心を映し出す鏡であり、美しい自然環境を取り戻すには、私達自身が健やかな心を回復する必要がある」として、活発な討議がその足がかりとなって、将来の世代に希望と勇気と連帯をもたらすようにと、会議への期待が表明されました。



㉑琵琶湖宣言 LAKE BIWA DECLARATION（' 84 世界湖沼環境会議）

前日までの分科会での討議をしめくくる全体会議は、1,000 名を越える参加者で、会場は熱気につつまれていました。全体会議における、琵琶湖宣言の採択の討議では、和文・英文の宣言案が会場に配布されました。壇上には、J. R. Vallentyne, S. Sato, L. E. M. Rich, F. N. Ibrahim、森島昭夫、吉良竜夫の各氏からなる起草委員がならび、まず森島氏から宣言文の原案が説明されました。これに対してフロアーから次のような発言がありました。

- 湖沼環境保全の概念的枠組みと目標を明確に示すべきである。
- 湖沼環境保全の費用便益についてもふれるべきである。
- 第 3 分科会で報告された琵琶湖の公式アセスメントと計画の再検討の必要性について、その趣旨を宣言文に入れるべきである。

最後に、これらの意見発表があったことを会議記録に残すことを条件に、琵琶湖宣言は原案どおり採択されました。



③⑩昭和 59 年 4 月 15 日レックス' 84 世界湖沼環境会議ニュース No. 1,  
「LECS' 84 を成功させよう」

③⑪昭和 59 年 11 月 15 日レックス' 84 世界湖沼環境会議ニュース No. 4,  
「水は人の心を映す鏡 武村知事開会式で挨拶」

③⑫昭和 59 年 11 月 15 日レックス' 84 世界湖沼環境会議ニュース No. 4,  
「閉会式 - 一九九六年にミシガンで再会しよう」



⑨「びわ湖の日」30周年 (平成23年/2011年)

2011年の「びわ湖の日」30周年の際に、滋賀県琵琶湖の富栄養化を防止するための条例制定当時を振り返り、「最初は憲法違反だという意見があった。日本中で自由に販売が認められているものを滋賀県だけが条例で規制するなんてとんでもないという意見があった。営業の自由という憲法が保障した原則に反するという主張で、もし滋賀県知事が販売を禁止するならば憲法違反であるから、法廷で争うと宣言していた。しかし石けん運動に関わっている人々は怯まなかった。ますます真剣に運動に取り組んでいかれて、その結果で琵琶湖条例ができた。県民の皆さんの力によるものである。結束した世論が打ち勝ったのだと思う。」と述べられました。

---

## びわ湖フローティングスクールの開設と

### 学習船「うみのこ」の就航

---



⑩県議会においてびわ湖フローティングスクール事業決議 (昭和57年/1982年)

議会にて武村元知事は、「湖上での集団訓練により、たくましさあるいは厳しさといったものを身につけるびわ湖フローティングスクールを建造し、すべての子どもが小学校時代に必ず一度はこの船で学校や家庭で学ぶことのできない集団宿泊体験ができるようにしていきたい。滋賀県ならではの船上教育が、たくましい心身をはぐくむとともに、後々までも忘れ難い思い出として生き続け、ひいてはびわ湖を守りふるさとを愛する心のよりどころとなるならば、その効果ははかり知れないものがあると考え。」と、うみのこ建造の意義を説明されました。



⑪「うみのこ（湖の子）」命名・進水式

⑬進水する「うみのこ（湖の子）」

⑫武村元知事による命名・支綱切断

⑭「うみのこ（湖の子）」進水の祝賀会

(昭和 58 年 / 1983 年)

1983 年 7 月 5 日、大津市今堅田の空兵衛造船所にて行われた「うみのこ（湖の子）」命名・進水式に参加されました。武村元知事より「うみのこ（湖の子）」と命名がなされ、その後造船所と船を繋いでいた綱を武村元知事の手で進水斧で切断する支綱切断が行われました。祝賀会の挨拶では、「うみのこ（湖の子）」建造に携わった多くの関係者への感謝と、滋賀の子どもたちを乗せてこれから始まる航海への夢を熱く語られました。



⑯「うみのこ」命名書

船名は県内小学校児童から公募し、605 点の応募の中から選ばれた「うみのこ」という名前を、命名・進水式にて武村元知事が命名されました。

⑰初代「うみのこ」就航PRポスター

「うみのこ」就航を県民に広く周知するためにポスターが作成され、県内保護者に公募し 554 点の応募作品の中から選ばれた 3 首の標語がポスターに掲載されました。





⑮開校ならびに就航式を挙行（昭和58年／1983年）

1983年8月2日、大津市の琵琶湖ホテル・琵琶湖ホテル港にて、びわ湖フローティングスクール開校ならびに就航式が挙行されました。開校式には県下小学校、盲、聾、養護学校の児童220名と来賓合わせて約600名が参加し、武村元知事は式典の挨拶で、「びわ湖を最大限に利用して滋賀県ならではの浮かぶ学校としてのすばらしい『湖の子』で、へこたれないたくましい子どもになり、友情や連帯、責任感を培い、びわ湖を愛する心を養い、未来に向かっていってください。」と参加した児童に語りかけられました。その後琵琶湖ホテル港にて行われた就航式で、代表児童らとともにテープカットが行われました。

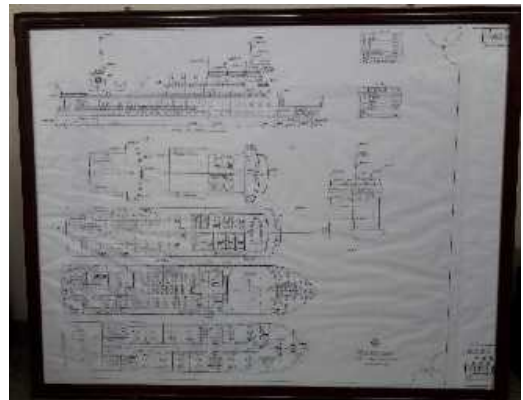


③初代「うみのこ」模型（1/50サイズ）

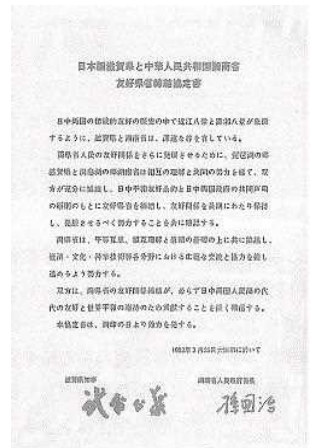
進水式で展示された1/50サイズの模型です。初代「うみのこ」には、昭和58年の就航から平成29年までの34年間で、約54万人の滋賀の子どもたちが乗船し、雄大な琵琶湖上で郷土や環境について学び、友情を育みました。

④初代「うみのこ」一般配置図

「うみのこ」建造にあたり、作成された一般配置図です。1～4階の平面配置図、側面図、断面図、主要項目、定員等が記載されています。



# 中国・湖南省との友好提携



⑱⑲ 滋賀県・湖南省 友好県省締結調印式

⑳ 友好県省締結協定書

(昭和 58 年 / 1983 年)

1981 年、中華人民共和国湖南省を訪れた武村元知事は、滋賀県にとって 3 つめの大きな友好協定締結にむけて、湖南省人民政府省長の孫國治氏（当時）と積極的な話し合いをもちました。そして、1982 年、当時の稲葉副知事が調印の打合せに訪中、明るく 1983 年 3 月に、琵琶湖に浮かぶミシガンで、和やかに調印式典が行われ、友好の一ページが開かれました。

㉑ 友好県省締結後、湖南省を訪れた友好訪中団の一行  
(昭和 58 年 / 1983 年)



友好県省締結から約 8 か月後の 1983 年 11 月に武村元知事をはじめとする県内各界代表約 20 名が湖南省を訪問しました。その後、友好への動きがさざ波のように巻き起こり、文化交流を目的とするもの、経済交流をめざすもの、教育・保健医療等多方面にわたり、両県・省の実体に即した中身の濃い交流が進められてきました。また日本の進んだ農業・工業技術を習得するために、県内の企業や教育機関に研修生の受け入れが行われました。

㉒ 両県省の友好提携 30 周年の記念式典において功労者表彰状を贈呈

(平成 25 年 / 2013 年)

2013 年 11 月 19 日に、30 年前に友好県省締結協定書が調印された舞台である琵琶湖上で、両県省の友好提携 30 周年記念式典が開催されました。その中で行われた友好交流功労者表彰において、武村元知事は湖南省との交流の礎を築かれた方として、表彰されました。





### ②湖南農業大学での武村元知事による講演 (平成 27 年／2015 年)



友好提携を結んで 32 年目を迎える 2015 年 8 月に中国湖南省との更なる友好交流の発展を目的として、三日月知事と西村県議会議長（当時）による滋賀県代表团、県民の皆さんによる友好交流団、県経済 6 団体による経済交流団、そして青少年の交流を目的とした高校生交流団など、総勢 100 名が湖南省を訪問。武村元知事は友好交流団として参加され、湖南農業大学で「日中互惠友好の新しい時代」と題して講演をされました。

中国湖南省人民政府外事办公室  
HUNAN PROVINCE GOVERNMENT OFFICE OF FOREIGN AFFAIRS

#### 唁電

敬啟者武村正義先生不幸逝世，湖南省人民政府外事办公室對武村先生逝世深表哀悼，並對湖南各界對武村先生逝世表示哀悼，並對湖南各界對武村先生逝世表示哀悼。



### ③武村元知事の御逝去を悼んで送られたメッセージ (令和 4 年／2022 年)

武村元知事御逝去の知らせは湖南省の日中友好人士の間に大きな衝撃を与えました。長きに亘る友好交流の歴史の幕を開けられた方として、湖南省においてもその存在はとて大きく、多くの方が哀悼の意を發しておられ、湖南省人民政府外事弁公室からも哀悼のメッセージが送られました。

## こんにちは知事です



### ③⑥～④①「こんにちは知事です」 (昭和 50 年／1975 年～昭和 61 年／1986 年)

知事就任翌年の 1975 年 7 月から始められた住民との対話事業。役場に地域の代表者を集めるのではなく、知事が直接町の集落に入り、誰でも参加できた点に大きな特徴があります。知事辞職直前の 86 年まで続けられました（全 131 回。総参加者 11,621 人）。

## その他の展示

### ④② トーベ・ヤンソン氏からの手紙 (平成7年/1995年)

「ムーミン」の原作者であるトーベ・ヤンソン氏から武村氏あてのお手紙【ご遺族から提供】

※日本語訳

日本のムーミンパパである 大蔵大臣 武村正義殿

1995年2月 フィンランドのムーミンパパより

拝啓

ヘルシンキにあります貴国の大使館で、友であり、敬服すべき大任を務めておられる貴殿は、一身を捧げて琵琶湖の保護のために闘っている闘志であることを聞きました。

実は私も同じように闘志なのです。ただし、私の場合は海の保護のために闘っています。

ムーミンパパ

追伸

よいお仕事をいつまでもお続けください。心からのご挨拶の言葉を申し上げると共に、末永くご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

敬具

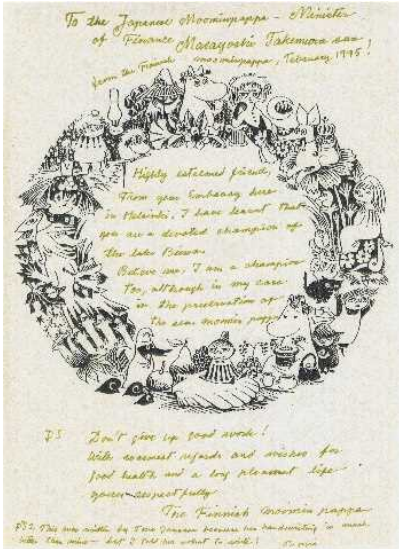
フィンランドのムーミンパパ

追伸2

私は字が下手なので、この手紙は私のかわりにトーベ・ヤンソンが筆記しました。

しかし何を書くかは私が指示しました。

パパ



④③～⑤①写真 【ご遺族から提供】

## 武村正義氏の略歴

年	月	出来事
昭和9年(1934)	8月	滋賀県八日市市(現・東近江市)に生まれる
昭和22年(1947)	3月	八日市市立玉緒小学校卒業
昭和25年(1950)	3月	八日市市立玉園中学校卒業
昭和28年(1953)	3月	滋賀県立八日市高校卒業
昭和33年(1958)	3月	東京大学教育学部卒業
昭和35年(1960)	3月	東京大学新聞研究所修了
昭和37年(1962)	3月	東京大学経済学部卒業
昭和37年(1962)	4月	自治省(現・総務省)入省
昭和39年(1964)	9月	西ドイツ留学(ボン大学、ミュンスター大学-1965年12月まで)
昭和42年(1967)	11月	埼玉県文書学事課長
昭和44年(1969)	5月	埼玉県地方課長
昭和45年(1970)	8月	自治大臣官房付兼大臣官房調査官
昭和46年(1971)	4月	八日市市長選挙に出馬、当選
昭和49年(1974)	11月	滋賀県知事選挙で初当選
昭和49年(1974)	12月	第43代滋賀県知事に就任
昭和49年(1974)	12月	県議会で県土地開発公社における上田建設グループが絡む土地の問題が表面化
昭和50年(1975)	1月	県財政非常事態宣言
昭和50年(1975)	2月	県土地開発公社が土地保有状況など初めて公表。借入残高、未払金の負債総額約462億円
昭和50年(1975)	2月	1975年度一般会計の「超緊縮型予算」案編成
昭和50年(1975)	3月	県議会で1975年度一般会計予算案に反対、増額修正案可決
昭和50年(1975)	5月	知事の諮問機関・県土地開発公社対策委員会が最終答申で「契約の解除か適正価格による契約の全面改訂」を提言
昭和50年(1975)	7月	「こんにちは知事です」スタート
昭和50年(1975)	11月	県職員給与を実質的に「2号俸引き下げ」
昭和51年(1976)	3月	近畿の市民らが琵琶湖総合開発による人工島や湖岸堤建設などの差し止めを求める民事訴訟(琵琶湖環境県訴訟)を大津地裁に起こす。
昭和51年(1976)	4月	県教委に文化振興課設置(翌77年文化部に格上げ)
昭和51年(1976)	7月	「湖と文化の懇話会」発足
昭和51年(1976)	10月	県が「県土地開発公社問題の概要」公表
昭和51年(1976)	11月	第一回琵琶湖淀川環境会議開く
昭和51年(1976)	12月	県文化賞第一回贈呈式
昭和52年(1977)	4月	「草の根ハウス」補助制度始まる
昭和52年(1977)	5月	琵琶湖で大規模な赤潮発生
昭和53年(1978)	2月	県議会で「草の根県政」標榜
昭和53年(1978)	4月	「土に生きる県民運動」スタート
昭和53年(1978)	9月	県、土地開発公社と上田建設グループ、飛鳥建設など6社との契約解除交渉合意
昭和53年(1978)	10月	県知事選で武村氏再選(無投票)
昭和54年(1979)	7月	県長期構想策定、「国民休養県構想」示す
昭和54年(1979)	8月	県庁、全国官公庁初の「お盆休み」(13日～15日)実施
昭和54年(1979)	10月	県「琵琶湖の富栄養化の防止に関する条例」可決・成立
昭和55年(1980)	1月	県「文化の屋根委員会」発足

昭和55年(1980)	7月	県「琵琶湖富栄養化防止条例」施行
昭和55年(1980)	7月	県立図書館移転、開館
昭和56年(1981)	9～10月	第36回国体「びわこ国体」開催
昭和56年(1981)	12月	琵琶湖総合開発の湖岸堤道路(南湖東岸)建設で、湖中ルート案を陸上ルートに変更
昭和57年(1982)	3月	琵琶湖総合開発を10年延長する琵琶湖総合開発特別措置法一部改正が国会で成立
昭和57年(1982)	4月	琵琶湖研究所創設
昭和57年(1982)	10月	県知事選で武村氏三選(無投票)
昭和58年(1983)	3月	中国湖南省と友好県省締結
昭和58年(1983)	9月	琵琶湖フローティングスクール「湖(うみ)の子」就航
昭和59年(1984)	4月	「湖国21世紀ビジョン」策定着手
昭和59年(1984)	7月	「ふるさと滋賀の風景を守り育てる条例」(風景条例)可決・成立<1985年7月施行>
昭和59年(1984)	8月	県立近代美術館開館
昭和59年(1984)	8月	大津市で「第1回世界湖沼環境会議」開催
昭和60年(1985)	6月	第1回びわ湖トライアスロン大会(彦根、長浜、坂田、東浅井、伊香各市郡)開催
昭和61年(1986)	6月	武村氏、衆院選立候補のため知事辞任
昭和61年(1986)	7月	衆院選(滋賀全県区)で初当選(自民党追加公認)
昭和61年(1986)	7月	地球環境議員連盟事務局長
昭和63年(1988)	9月	ユートピア政治研究会、会長に就任
平成2年(1990)	2月	衆院選で再選
平成2年(1990)	3月	自民党環境部会長
平成3年(1991)	3月	自民党政治改革本部事務局長
平成5年(1993)	6月	自民党離党
平成5年(1993)	6月	新党さきがけ結成(代表に就任)
平成5年(1993)	7月	衆院選三選
平成5年(1993)	8月	細川護熙内閣発足、内閣官房長官に就任
平成6年(1994)	4月	内閣官房長官辞任表明
平成6年(1994)	6月	村山富市内閣発足、大蔵(現・財務)大臣に就任
平成7年(1995)	8月	村山改造内閣発足、大蔵大臣に再任
平成8年(1996)	1月	大蔵大臣辞任表明
平成8年(1996)	8月	新党さきがけ代表辞任
平成8年(1996)	10月	衆院選で4選
平成10年(1998)	5月	さきがけ(党名変更)代表
平成11年(1999)	2月	財政赤字を憂える会を結成、会長就任
平成11年(1999)	12月	日中友好沙漠緑化協会設立(会長に就任)
平成12年(2000)	2月	心筋梗塞でバイパス手術
平成12年(2000)	4月	腹部動脈瘤破裂で緊急手術
平成12年(2000)	6月	衆院選で落選
平成14年(2002)	4月	龍谷大学客員教授
平成16年(2004)	4月	徳島文理大学大学院教授
平成17年(2007)	4月	麻布大学客員教授
令和4年(2022)	9月	逝去

\* 関根英爾『武村正義の知事力』(サンライズ出版、2013年)をもとに滋賀県立公文書館が作成。

展示資料：県政を振り返り、次世代へ  
つなぐ企画展(武村県政)  
令和4年(2022)12月13日

担当

滋賀県知事公室秘書課

〒520-8577 滋賀県大津市京町四丁目1番1号

Tel : 077-528-3020 Fax : 077-528-4800